



# 自律走行搬送ロボット 「ラピユタPA-AMR」

ラピユタロボティクス株式会社



## 人とロボットのチームワークが創る ピッキングソリューション

### ■ラピユタPA-AMRの概要

自律走行搬送ロボット「ラピユタPA-AMR」は、物流倉庫ピッキング作業の負担(歩行距離・時間)軽減、作業効率の向上および省人化を実現する「協働型ピッキングアシストロボット」です。「ものを認識して掴んで入れる」という人の強みと、「最短経路を導き出し、ものを運搬する」というロボットの強み、それぞれを活かすことで業務効率を向上させ、物流現場の人材不足解消や拡張性の担保に貢献するロボティクスソリューションです。

1人に対して2-3台のロボットと一緒に働くことで、人は経路に迷うことも、重たい荷物も運ぶこともなく、軽快にピッキング作業に集中できます。

これを可能にするのが、ラピユタロボティクスの強みである群制御技術です。様々な変数がある環境下でも、複数台のロボットを協調制御し、瞬時に最適解を導き出して目的地に辿り着きます。

### ■社会的ニーズ

当社はロボットを活用することによって、すべての人が3K(きつい、汚い、危険)と言われる仕事から開放され、より知的で創造的な仕事に集中できる世界の実現を目指しています。中でも現在は、自動化の余地・効果が大きい物流業界(物流倉庫)での課題解決に取り組んでいます。

EC市場が急成長する一方、物流倉庫では、労働力確保が年々難しくなり、人件費高騰にもつながっています。各企業においては、作業者の負担を減らしつつ、最小限の人員で庫内業務を回せるような環境構築が喫緊のテーマとなっています。

上記課題を解決するものとして、今日「ラピユタPA-AMR」が多くの現場で稼働しているのです。

このように物流における作業効率化は、結果的に我々の生活に密接に関わるため、物流会社の利益に資するだけでなく、経済全体の発展に貢献できると考えております。

### ■ラピユタPA-AMRの特長

- ①**生産性向上**: 現状生産性を最大2倍に引き上げます。
- ②**高い柔軟性**: 新規倉庫はもちろん、既存倉庫にもレイアウトを変えずに導入することが可能です。
- ③**導入後のサポート**: カスタマーサクセスチームが、稼働状況や実績をもとに生産性向上のための伴走支援をします。



人と協働作業する「ラピユタPA-AMR」

### ■今後の展開

商用化以来、国内50拠点への納入、累計販売数は500台を超えております。2023年1月にアメリカシカゴにオフィスを開設し、日本の厳しい倉庫環境で培った技術をアメリカの物流倉庫にも展開すべく営業活動を開始しております。